

九州・アジア/中国ビジネス研究会

第98回研究会開催案内

日時：平成27年3月26日(木) 18:30 — 20:30

場所：エルガーラ・オフィス棟 6階601-2号室 久留米大学福岡サテライト教室

福岡・中央区天神1-4-2 大丸エルガーラ東館 TEL：092-737-3111

(エルガーラ・オフィス棟は天神・大丸エルガーラ東館と国体道路沿いで隣接するビルです)

講師：ミナトエレクトロニクス(株)代表取締役社長 若山 健彦氏(わかやま

たけひこ) 氏

略歴：1967年東京生まれ、1989年東京大学卒業後、日本長期信用銀行(現、新生銀行)に入行、外国為替業務、法人融資業務を担当。1994年米スタンフォード大院経営学修士(MBA)修了後、同行ニューヨーク勤務、米メリルリンチ証券会社勤務を通じ国際金融ビジネスに従事。2000年イーバンク銀行(元、楽天銀行)を創業、代表取締役副社長COO(最高執行責任者)としてインターネット専門銀行の立ち上げを行う。2009年楽天に売却し、自らの経営コンサルティング&投資会社、株式会社フリーダム・キャピタルを通じ、ベンチャー企業、企業再生へのアドバイスや投資を行う。2012年より投資先でありJASDAQ上場企業、60年近い歴史を持つミナトエレクトロニクス株式会社の代表取締役社長として同社の業績改善に努める。他に国内外のベンチャー企業の社外役員、経済同友会会員、東京愛宕ロータリークラブ副幹事も務める。

テーマ：ミナトエレクトロニクス株式会社の再生・成長戦略～日本の老

舗・中堅メーカーの海外進出は是か非か！?

概要：ミナトエレクトロニクス株式会社は1956年創業の老舗電子機器メーカー。1980年代に主力の半導体検査装置(メモリーテスター)で成長し、1988年に株式公開、一時代を築いた。その後、国内の半導体工場が大幅に減少しメモリーテスタービジネスはほぼ消滅、業績は長期にわたり低迷した。国内シェアの高いデバイスプログラマ(半導体へのプログラミング装置、いわゆるROMライター)、ATMや電子黒板等で使われるタッチパネル、の製造販売で事業維持を行って来た。若山氏は、数々のベンチャー企業の創業や、事業再生プロジェクトに携わっており、2012年に同社の代表取締役に就任後、再生・成長戦略を描き現在その実行に邁進している。海外約20カ国に代理店網を持っているROMライターを始め、まだまだ海外には市場ニーズがあると見た同氏がどのような海外戦略を立て、行っているのか、今後の日本の中小企業の成長・再生戦略の参考になるのではないかと期待されている。

会費：参加ご希望の方は以下に申込み、登録の上、当日会場入り口にて参加費1000円をお支払いください。

申込み先：(株)アジアソリューション・中山芳美 宛

電話：092-741-9338 E-mail：yoshimi@asol.ne.jp

九州・アジア/中国ビジネス研究会

主催：一般社団法人九州・アジアビジネス連携協議会 共催：近畿大学産業理工学部・アジアビジネス研究会